

報道関係者各位

2023年9月28日  
近鉄不動産株式会社  
大林新星和不動産株式会社

姫路市最大・最高層、総戸数200戸・地上16階建て  
「姫路ヤマトヤシキ跡マンションプロジェクト」  
「住宅×商業」複合の大規模マンション 始動！

近鉄不動産株式会社（本社：大阪市天王寺区／代表取締役社長：倉橋 孝壽）と大林新星和不動産株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：蛭間 基夫）は、JR山陽本線「姫路」駅へ徒歩7分、山陽電鉄「山陽姫路」駅へ徒歩5分、日本で初の世界遺産となった国宝「姫路城」の大手門（桜門）につながる「大手前通り」沿いに、「姫路ヤマトヤシキ跡マンションプロジェクト」を始動したことをお知らせいたします。本計画は、米田まけん堂として創業した1906年以来、111年間にわたり姫路市民に愛され続けた老舗百貨店「ヤマトヤシキ」跡地に、姫路市内の分譲マンションにおいて最大・最高層となる総200戸・地上16階建（東棟16階、西棟11階）の住宅・商業複合の大規模マンションとして誕生します。

本計画の西面に隣接する「大手前通り」は、全長約840m・幅員約50mの姫路市における象徴と呼ぶべき街路で、いちよう並木が連なる広々とした遊歩道にはウッドデッキや木製ベンチも設置され、開放感あふれるメインストリートとして市民に広く親しまれています。また、多彩なショップが軒を連ねて賑わう「みゆき通り商店街」及び「二階町商店街」に隣接するほか、近年の再開発によりさらに魅力を増した姫路駅前の生活利便に恵まれた環境です。

これまでに培ってきた街づくり・住まいづくりのノウハウを結集し、希少性の高い姫路の中核・特等席と呼ぶべきこのアドレスに相応しい、フラッグシップ・レジデンスを創造してまいります。



【外観 完成予想図】



【姫路・大手前通り】

## 【特徴①】

姫路市内の分譲マンションとして希少性の高い

「大手前通り×雨でも傘いらずで姫路駅へアクセス可能」な立地  
交通利便・生活利便・教育環境に恵まれたエリア

JR山陽本線「姫路」駅へ徒歩7分、山陽電鉄「山陽姫路」駅へ徒歩5分と、2路線2駅が利用可能で、三ノ宮や大阪といった都心へも軽快にアクセスできます。また、姫路駅前には1988年に姫路市により計画策定された、賑わいと潤いにおいに満ちた街づくり計画「キャストィ21」により、ホテルや大型商業施設をはじめとした駅前整備事業が近年完成しており、さらに美しく心地よい都市空間へと生まれ変わっています。

本計画地は「みゆき通り商店街」及び「二階町商店街」に接し、雨の日や暑い日でも快適に姫路駅へアクセスできるほか、「山陽百貨店」や「ピエラ姫路」といった駅前商業施設が近くに位置しています。また、小中一貫教育モデルである「市立白鷺小・中学校」が徒歩圏内であり、豊かな生活利便を享受できる住環境が整っています。



【計画地周辺概念図】

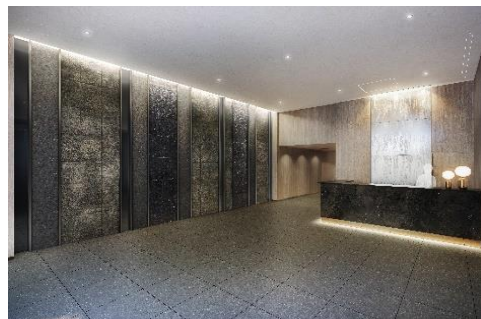
## 【特徴②】

「ゲストルーム」などの豊富な共用空間を備えた総200邸  
最上階には「プレミアム住戸」を設定

姫路市〈最大・最高層〉となる総戸数200戸・地上16階建（東棟16階、西棟11階）というスケールメリットを活かし、姫路市の新たなランドマークとなる洗練された外観デザインを追求。商業施設を1階に誘致予定のほか、「ゲストルーム」や「屋上テラス」、「オーナーズラウンジ」や「パーティールーム」といった多彩なシーンとニーズに応える共用空間をプランニング。

さらに、入居者の暮らし心地を高めるサービスとして「コンシェルジュ」や「24時間ゴミ出し対応」も導入予定。住まわれる方々のステータスを満たすレジデンスとなることを目指しています。

また、住戸プランは60㎡台～160㎡台と豊富なバリエーションを用意するほか、最上階は居室の天井高を約2,650mm確保したプレミアムフロアとしてさらに高品位な設備・仕様を採用いたします。



【エントランスホール 完成予想図】

## 【物件概要】

物件名	「姫路ヤマトヤシキ跡」マンションプロジェクト
所在地	姫路市二階町50番外10筆
交通	JR山陽本線「姫路」駅徒歩7分、山陽電鉄「山陽姫路」駅徒歩5分
総戸数	200戸
構造・規模	RC造地上16階（東棟）・11階（西棟）
売主	近鉄不動産株式会社、大林新屋和不動産株式会社
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション
施工	株式会社長谷工コーポレーション
完成時期	2025年12月（予定）
入居（引渡）予定	2026年2月（予定）

※外観・エントランスホールの各完成予想図は設計図書に基づいて描いたもので、スケール等は実際とは異なる場合があります。また監督官庁の指導、施工上の都合等により建物の形状・色調・植栽等に変更が生じる場合がございます。表現されている植栽は、育成期間を経た状態のものを想定して描いており、特定の季節を描いたものではありません。周囲の建物等は省略してある他、外構・フェンス・電柱等や外構形状の細部、設備機器等は表現していません。